



2013.12.5

No. 239

毎月5日発行 定価1部10円 (組合員の購読料は組合費に含む)
1996年3月4日第三種郵便物許可

MONTHLY

れんごう



<http://www.rengo-hokkaido.gr.jp>

発行

日本労働組合総連合会 北海道連合会

発行責任者

出村良平

〒060-8616 札幌市中央区北4条西12丁目 ほうろうビル6F TEL (011) 210-0050 center@rengo-hokkaido.gr.jp

「平和行動 in 沖縄」北海道代表団を派遣 全道から18名が参加、平和への思い新たに

沖縄戦が終結してから68年目を迎える中、連合北海道は「平和行動in沖縄」として11月7日から10日までの4日間、全道各地から18名の参加者を集め北海道代表団を派遣した。

例年は、6月の沖縄慰霊の日に合わせて、連合本部主催の平和行動に参加していたが、今年は参議院選挙があったため、この時期での独自派遣となった。

平和行動1日目は学習会を開催。第一学習会では、沖縄国際大学前泊博盛教授より「安倍政権と沖縄問題」と題した講演を頂いた。その中で前泊教授は秘密保護法の問題点や米軍基地が沖縄経済を阻害している点などについて詳しく語られた。また中国との尖閣問題についても触れ「軍備強化は抑止力にはならず、反対に尖閣が激化している。」と日本政府の防衛のあり方について疑問を投げかけた。

さらに「抑止力以上に見えないものが主権」であるとし、「1952年4月28日を日本の主権が回復した日として式典まで開催したが、当時のその日も米軍統治下に置かれていた沖縄・奄美・小笠原は日本ではなかったのか。主権の及ばない範囲として式典で表明したことによって、中国が沖縄の帰属問題にまで言及している」と政府を批判した。

第二学習会では、沖縄タイムス専任論説委員の長元朝浩氏より「メディアから見る沖縄の行方」と題した講演を頂いた。その中で長元論説委員は「安倍政権は尖閣問題が出てきている今をチャンスとして秘密保護法・集团的自衛権・積極的平和主義等を進め、これらを一つのパッケージとしてこれまでどの政権でもしなかった安全保障政策を進めようとしている。その中でオスプレイを沖縄に配備をしたが、オスプレイは尖閣を守らない。これはまったくの幻想で、日本だけが米国に頼りきっている異常な状態」



と指摘した。また「沖縄にとっては日中に争いを起こさない関係改善が必要。そうするためには何ができるか、労働組合としても考えてほしい」と提起した。

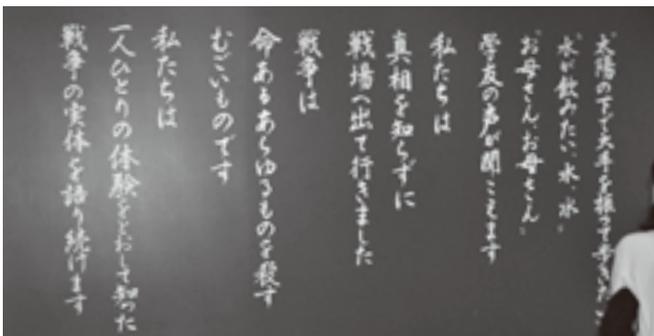
2日目はフィールドワークとして米軍基地と南部戦跡を回った。ひめゆり平和祈念資料館では、資料館学芸員の古賀徳子さんから「ひめゆり学徒隊」と題した講演を頂いた。

その中で古賀さんは「生徒達は生き残って申し訳ない、後ろめたい気持ちで、人前で自分の話を語るができなかった。でも生きてくても生きれなかった友達のためにこの資料館を建て語り継いでいる」と語った。

また沖縄県平和祈念資料館では、体験者の残した言葉や壮絶な映像等を通して、反戦への気持ちを新たにした。

参加者は今回の行動で得たものを、今後の産別での運動に生かし、連合北海道としても、戦争がもたらした惨劇と実相を忘れることなく、更に「米軍基地の整理・縮小」「日米地位協定の抜本改定」を求め平和運動を推進していく。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013110701_peaceinokinawa.html



「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」 全道キャンペーン実施中!

■全道キャンペーン第2弾 全道一斉街宣行動スタート!

11月11日、連合北海道は、連合の「STOP THE 格差社会! 暮らしの底上げ実現」全国キャンペーンと連動し、全道キャンペーン第2弾をスタートさせ、全道各地で街宣行動を実施した。

11日午前8時、気温2度の時折雪が舞う中、札幌駅前、連合北海道・石狩地協が民主党北海道と共同で、早朝街頭宣伝行動を展開した。安倍政権が進める解雇の自由化や労働者派遣法の改悪阻止に向けて、道行く通勤途中の市民に、構成組織22人の組合員により3500枚のチラシを配布した。

街頭演説では、中央区選出の段坂繁美道議、小林郁子道議、長谷川衛市議、北区選出の宝本英明市議の4人の応援弁士によるリレー演説を行い、「労働者保護ルールの改悪は絶対に許さない」と訴えた。



翌12日は雪景色となった地下鉄札幌駅前、早朝街宣を実施した。手がかじかむ中25人の仲間で3000枚のチラシを配布した。街頭演説では、厚別区選出の伊藤政信道議、西村茂樹市議、小川直人市議の3人の応援弁士によるリレー演説を行った。



■石狩管内のテープ街宣も同時にスタート!

11月11日～12月6日までの間、札幌地区ユニオン・札幌パートユニオンの組合員の運転のもと、街宣車で石狩管内の市町村を走行し、世論喚起を促した。初日は、昼休み時間帯には大通り公園をはじめ市内中心部を中心にテープ街宣を行い、その後、中央区一円の幹線道路、住宅街などを走行し、連合の主張を会社員や買物途中の市民に訴えた。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013111201_kakusa-campaign16.html

■第1波 5日連続の街宣行動を実施!

11月13日、雪化粧した地下鉄真駒内駅前、3日目の早朝街頭宣伝行動を展開した。街頭演説では、白石区選出の広田まゆみ道議、豊平区の松山丈史道議、南区の三宅由美市議の3人の応援弁士によるリレー演説を行った。吐く息も真っ白の中で、民主党南区のスタッフも一緒に総勢18人でチラシ3000枚を配布した。



11月14日は、地下鉄麻生駅前にて15人の組合員で2000枚のチラシを配布した。頻りにバスが到着する中、東区選出の篠田江里子市議、豊平区選出の植松

裕子市議、石狩地域協議会山本功副事務局長の3人が、リレー演説して、解雇の金銭解決や残業代を払わないホワイトカラーイグゼンプションの課題などを訴えた。



第1波行動の最終日となった15日は、時折小雨の降る中、地下鉄東西線宮の沢駅前にて、手稲区選出の須田靖子道議と小野正美市議の応援演説のもと19人の組合員で1800枚のチラシを配布した。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013111502_kakusa-campaign17.html

■十勝地域協議会からの街頭宣伝行動報告

11/12 (火) 12:10～12:40

帯広・藤丸デパート前にて組合員12名と一緒に250枚のチラシを配布した。

11/18 (月) 12:10～12:40

帯広・藤丸デパート前にて組合員9名と一緒に250枚のチラシを配布した。



■上川地域協議会からの街頭宣伝行動報告

11/12 (火) ~15 (金)

上川管内をテープ街宣。

11/15 (金) 12:30~13:30

1条通り買物公園にて、民主党6区総支部と合同で街宣行動を行った。佐々木隆博前衆議員、佐々木邦男市議、白鳥秀樹市議の3人の応援弁士を迎え、雨の中、組合員11人と300枚のチラシを配布。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013112001_kakusa-campaign18.html



12月の道内の主な場所での街頭宣伝および集会日程

12月1日(日) 稚内市念法寺前にて街頭宣伝行動

12月7日(土) 函館市 本町交差点にて街頭宣伝行動

12月7日(土) 釧路市にて集会

12月 7日(土) 北見駅前にて 街頭宣伝行動

12月14日(土) 函館市 本町交差点にて街頭宣伝行動

12月16日(月) 稚内 海員組合にて集会

「酪農ヘルパー」を知ってほしい 酪農業を支える若者雇用応援シンポジウム開催

2013年10月31日、札幌市・センチュリーロイヤルホテルにおいて、連合北海道は、北海道の基幹産業である農林水産業に携わる労働者、酪農ヘルパーにスポットをあてたシンポジウムを開催した。酪農ヘルパー、酪農業経営者など約120人が参加。

連合北海道の工藤会長は開会にあたり、このシンポジウムは労働なんでも相談ダイヤルに酪農ヘルパーの方々から「休みが取れない」「肉体的にも精神的にも疲れている」「年収低い」「将来に不安」、経営者からも「採用してもすぐやめてしまう」「定着するにはどうしたらよいか」と労働相談が入ったことから企画したと挨拶。

酪農ヘルパーは全国で約2,000人（うち約800人が北海道）いる。酪農家の休日確保や突発的な事故が発生した場合や冠婚葬祭などの日に、酪農家に代わり飼育管理を行う、酪農経営に不可欠なパートナー。

家族経営にかわり雇用労働者が増える中であって、林業をのぞく第一次産業が労基法の休憩・休日に関する規定の適用除外（41条該当）となっている課題や、賃金水

準、人員体制、社会的地位の確立など課題がある。

シンポジウムは、「酪農業（一次産業）を支える若者雇用をどう考える」をテーマに農水省生産局畜産部畜産企画課畜産環境・経営安定対策室環境企画班・和田課長補佐、道東酪農ヘルパーネットワークサービス有限責任事業組合十勝支部・松多支部長、酪農学園大学農食環境学群・荒木群学長が討論を行った。

また、シンポジウム後の本部との意見交換で連合北海道の齊藤組織対策局・非正規労働センター局長は、「雇用するという一次産業はこれから増える。酪農ヘルパーという雇われ方が増えてくる。増やさないと北海道の酪農業は成り立たない。第一次産業ではたらいっている雇用労働者、酪農ヘルパーの労働条件や労働環境の整備をこの取り組みを通じ進めたい。また、この取り組みは1000万連合にむけた取り組みでもあり酪農をかかえる各県連合会とも連携したい」と語った。

〈この記事のアドレス〉http://www.rengo-hokkaido.gr.jp/report/2013103101_sympo-dairyfarming.html



北教組が給付型奨学金をスタート ぜひ知人・友人にご紹介下さい

北教組（北海道教職員組合）は、高校進学が困難な中学3年生を対象に、入学準備金及び高校等で奨学金を受け取るまでの期間の支援を目的に、主任手当の社会的還元として「給付型奨学金」を実施するとしています。

経済格差が子どもの貧困や教育格差に連鎖する状況にあり、現在、高校進学率が98%を超えていても保護者の経済的状况によって進学を断念せざるをえない子どもたちもいます。こうした中で、北教組の「奨学金」のとりくみは、一人でも多くの子どもたちが将来に夢や希望を持つことを支援するものであり、「経済格差・教育格差解消」や「教育条件整備」などの運動にもつながることから、産別や地協に対して、特段の協力を要請します。

■奨学金の目的と支給内容

①進学に向けた支出が困難な家庭事情がある方の進学を応援する奨学金です。

②入学準備や高校に入学してから他の奨学金を受け取るまでの間の支出に対応できるように入学前の3月に支給。

③支給額は1人10万円。250人程度に支給します。返還義務のない給付型奨学金です。

■奨学金の応募条件

①2014年春に北海道内の高校等に進学を希望する、現在北海道内の学校に在籍している中学三年生であること。

②入学準備金等の支出が困難な家計状況であること。
(チラシの方法で算出する「家族一人あたりの認定所得月額」が25,000円未満である場合。ただし相当な財産を持っている場合は除きます。

所定の申請書で申請します。申請の締め切りは12月28日（消印有効）

以上の条件を満たす申請者から家計状況等の諸事情を勘案して250名を選考し、1人につき100,000円支給します。学業成績、行動面、性格面等、一切問いません。

注) 本奨学金は非課税ですが所得とみなされます。収入状況によっては生活保護認定が外れる場合や減額される場合があります。生活保護を受けている場合は、市町村の担当課へお問い合わせの上、お申し込みください。

15歳の進学 応援します

「返還義務なし」奨学金 スタート

経済的理由で高校進学をあきらめる中学生がいます。
北教組は、そんな子どもたちの進学を応援するために、
返還義務のない奨学金を給付します。

進学時の負担を軽減する奨学金です

高校などに進学希望の中学3年生が対象
3月に10万円支給 返還義務はありません
募集人数250名 申請締切 2013年12月28日

子どもと教職員の応援団

北教組

北海道教職員組合 北海道教育委員会

申請用紙・募集要項の請求

電話かファクシミリで北教組本部に請求してください。(ファクシミリの場合はお名前、ご住所、電話番号に加え、奨学金募集要項希望と明記して送付して下さい)

北教組本部
TEL011-561-8289 FAX 011-563-3521



12月の主な動き

イベントカレンダー

■連合北海道青年委員会第21回総会

1日(日) 9:00/ホテルユニオン

■第66回中央委員会

3日(火) 10:00/ホテルイースト21

■「STOP THE 格差社会!

暮らしの底上げ実現!」12.5緊急集会

5日(木) 18:00/日比谷音楽堂

■檜山地協定期総会

7日(金) 10:00/江差町地域振興センター

■日高地協定期総会

7日(金) 13:00/
新ひだか町コミュニティセンター

■釧根地協定期総会

7日(金) 13:30/キャッスルホテル

■宗谷地協定期総会

7日(金) 13:30/旧労働会館

■第6回就活セミナー

7日(金) 12:30/自治労会館

■第1回中小・パート労働条件委員会

12日(木) 14:00/連合北海道会議室

■食・みどり・水を守る道民の会総会

13日(金) 13:30/ガーデンパレス

■労働法出前講座

13日(金) 18:30~14日(土)/連合北海道会議室

■上川地協定期総会

15日(日) 10:00/旭川トーヨーホテル

■中央執行委員会

19日(木) 13:30/連合会館

■第3回執行委員会

20日(金) 10:00/連合北海道会議室

■第55回地方委員会

20日(金) 13:30/ガーデンパレス

■第2回地協事務局長会議

20日(金) 15:30/ガーデンパレス

■御用納

27日(金)